## 国鉄と各修旅委

# 新幹線の利用調査

## 新ダイヤ組む

### 従来の専用電車も生かす

修学旅行の新幹線利用について国鉄では来年度から実施に踏み切る計画で関係地域の各修学旅行委員会を通じ〃どんな時間帯がよいか〃の調査をはじめている。現在のところ従来の東海道線による修学旅行専用電車の希望もかなり多いようだ。なお各修学旅行委員会ではこれと並行して〃特急料金の全免運動〃も活発に行なっている。

【大阪】近畿中学校修学旅行委員会＝委員長、多田義雄（大阪府）木浦馨（京都府）片山昭（兵庫県）中野秋雄（奈良県）有川重雄（滋賀県）坂口正雄（和歌山県）の諸氏＝では昭和四十六年度の修学旅行のための新幹線および従来の専用電車希望を五月十五日までに回答するよう管下各中学校長あてに依頼した。

これは去る四月二十二日、国鉄関西支社が近畿各府県の中学校長を招いて新幹線利用の説明を行ない、新ダイヤを提示、これに基づいて回答を求めたところ、実情にそわないことが判ったため同委員会として次のような独自のダイヤを作り、再調査をすることになったもの。

▽東海道新幹線

A、往路こだま＝新大阪（八・五五）京都（九・一四）米原（九・四一）名古屋（一〇・一八）静岡（一一・三三）三島（一一・五七）熱海（一二・〇八）小田原（一二・二三）東京（一三・〇五）、往路ひかり号＝東京（一三・二〇）名古屋（一五・二三）京都（一六・一〇）新大阪（一六・三〇）

B、往路こだま＝新大阪（一〇・五五）京都（一一・四五）米原（一一・四一）名古屋（一二・一八）静岡（一三・三三）三島（一三・五七）熱海（一四・〇八）小田原（一四・二三）東京（一五・〇五）復路ひかり＝東京（一三・〇〇）名古屋（一五・〇二）京都（一五・五〇）新大阪（一六・一〇）

C、往路こだま＝新大阪（九・一五）京都（九・三四）米原（一〇・〇一）名古屋（一〇・三七）静岡（一一・五三）三島（一二・一七）熱海（一二・二八）小田原（一二・四三）東京（一三・二五）復路こだま＝東京（一二・五〇）小田原（一三・三四）熱海（一三・四六）三島（一三・五七）静岡（一四・二四）名古屋（一五・三七）米原（一六・一三）京都（一六・四〇）新大阪（一七・〇〇）

D、往路こだま＝新大阪（一一・一五）京都（一一・三四）米原（一二・〇一）名古屋（一二・三七）静岡（一三・五三）三島（一四・一七）熱海（一四・二八）小田原（一四・四三）東京（一五・二五）復路こだま＝東京（一二・一〇）小田原（一二・五四）熱海（一三・〇六）三島（一三・一七）静岡（一三・四四）名古屋（一四・五七）米原（一五・三三）京都（一六・〇〇）新大阪（一六・二〇）

▽東海道線による専用電車

E、きぼう号（従来通りのダイヤ）

F、わかば号（同じ）

これらのダイヤによると新幹線利用では二泊三日、従来の専用電車は三泊（うち一泊は車中）四日の行程となるが、新幹線による三泊四日は取扱わない。四十六年度はAからFまでの六種類のうちの同一電車としている。新幹線の場合は一列車の定員九百九十五名だから数校連合のときは超過しないよう事務局では希望している。

新幹線対策で協議する関修委運営委（東京新宿・都教育会館で）

## 関修委では

## 四案で

また関東中学校修学旅行委員会では四月十四日、東京・新宿の都教育会館で第四十二回運営委員会を開いた。この日、全修協の山本種一理事長、国鉄側から関東支社中央販売センター副所長・斎藤実同所員・渡海正男氏らも出席、①四十六年度関西修学旅行専用電車（「わかくさ号」と新幹線）利用の希望調査と今後の対策②東海道新幹線修学旅行専用列車の特急料金全免運動の進めかたなどについて協議した。

国鉄側から新幹線利用希望について五月末日までに本社でまとめる必要があるので、ぜひ協力を願いたいと発言、次のようなダイヤの案を提出した。

（A）【往路】こだま＝東京八・一〇―名古屋一〇・五五―京都一一・〇〇【復路】ひかり＝京都一二・二四―名古屋一四・一一―東京一六・一五。

（B）【往路】こだま＝東京一〇・一〇―名古屋一二・五五―京都一四・〇〇〇【復路】ひかり＝京都一二・二四―名古屋一三・一一―東京一五・一五。

（C）わかくさ号（従来通り）

（D）ひので号（同）

（注意）①この四種類のうち一種類の往復を利用すること②乗車人員には引率教員も含めること③（D）以上の乗車期日は三種類の希望申込み数が全部出揃ったときに関修委で公平に相談して決定する。④調査回答は四月三十日まで。

全修協の山本理事長は「この運営委に国鉄側も出席され、修学旅行の輸送面に協力してくれることはうれしい。修学旅行は児童生徒のために存在するものであり、さらにそれが教育的な立場から実施される以上、文部省との関係もきわめて深い。新幹線の利用は大いに歓迎すべきことではあるが、先覚者やわれわれの努力で誕生した従来の修旅専用電車を葬ることはしのびない。これを同時に生かしていく方策もたてねばならない。各地の教育現場の声も同じである。新幹線に移行するにしてもその移りかたを慎重に考えなければ現場で混乱をきたすだろう」と述べ、さらに新幹線の特急料金全免運動については、いよいよ本格的な段階に入るだろうと語った。

## 横顔

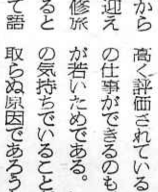
### 気骨溢れる長州人

―全修協山口県支部長＝

**開地茂行氏**

★…温厚篤実という言葉は、この開地茂行氏のためにあるかのようだ。しかし、その気骨のたくましさは、さすが長州人だといえる。全修協企画の研修旅行に山陰コースがあるときなどは、山口市の在にある自宅から朝早く小郡駅まで旅行団を迎えにくる。その誠実ぶりは研修旅行参加者から感謝されているところ。このときは朗々として語りかけるが、ふだんは口が重いほど無口だ。〃東北人のようだ〃との評判も、案外このようなところから出ているのだろう

★…全修協の運動には全く献身的で、その手堅い仕事ぶりは高く評価されている。これだけの仕事ができるのも、精神年令が若いためである。いつも青年の気持ちでいることが、年令を取らぬ原因であろうか。誰がみても七十歳をすぎたとは思わないだろうし、自分でもまだ四十台だと信じきっている。万年青年の支部長である。



★…山口師範卒、豊浦・吉敷郡の教諭や校長を歴任、昭和二十五年防府市の小学校長を最後に退職、同三十五年、県教育会厚生部長、同三十七年に全修協県支部長になり現在に至っている。七十四歳。

# 値上がり攻勢下の修学旅行

## 倍以上の地区も

### 全修協調査

諸物価、料金など値上げりの波は修学旅行界にも押し寄せ、父兄負担はいよいよ増大しつつある。全修協をはじめ各修学旅行委員会では関係官庁、各機関、組合などに対して極力値上げを抑制するよう要請や陳情を行なっている。全修協では本年度のバス、宿泊、施設見学などの料金を調査したところ、バス料金の高騰が目立ち、最低で一割二分、なかには三倍近くになった地区もあり、平均五割以上の値上げとなっている。カッコ内は前年度に対する値上がりの率。

### 貸切バス

▽近畿

【京都地区】京都A（比えい山―京都＝八時間）二万六千円（一八％）京都B（同＝十時間）三万円（一九％）京都C（奈良、法隆寺）二万九千五百円（三一％）

【伊勢・鳥羽地区】

A外宮―内宮―二見―鳥羽―宇治山田＝二万二千五百円（二五％）B宇治山田―鳥羽―二見―内宮―外宮＝二万円（三〇％）C外宮―内宮―鳥羽―二見―宇治山田―二万円（三〇％）D宇治山田―スカイライン―鳥羽―一万三千円（三〇％）E宇治山田―スカイライン―鳥羽―宇治山田＝二万一千円（二四％）

▽関東・中部

【箱根・富士―東京地区】（A）熱海―東京（二泊）八万円（五七％）（B）沼津―東京（同）八万一千円（五六％）（C）小田原―東京（同）七万八千円（五六％）（D）富士―東京（同）八万九千五百円（五〇％）（E）熱海―東京（同）八万二千円（五五％）（F）小田原―東京（同）七万九千円（三九％）（G）沼津―東京（同）八万三千円（三八％）（H）富士―箱根（同）七万円（三八％）

【新潟地区】（A）市内観光＝一万二千円（五〇％）（B）寺泊遊園往復＝八千円（一〇〇％）

▽中国

【鳥取地区】

砂丘―三朝＝一万八千円（二〇％）三朝―大山―米子＝一万九千円（一二％）

【山口地区】小郡―萩＝一万三千五百円（三〇％）下関―秋吉台＝一万九千五百円（三〇％）山口―岩国＝三万五千五百円（三〇％）

▽四国

高知―桂浜―竜河洞―宿泊地＝一万五千五百円（三六％）高知―桂浜―五台山―竜河洞―宿泊地＝一万七千五百円（三〇％）

▽九州

【長崎地区】

長崎市内（二時間コース）＝八千円（二五〇％）同（三時間コース）＝八千円（一七〇％）

【熊本地区】

熊本市内（二時間コース）＝八千円（二〇〇％）熊本―阿蘇山―熊本＝一万九千円（二〇％）熊本―阿蘇山―別府＝四万五千五百円（三〇％）

【別府地区】

別府市内（地獄―高崎山）＝一万四千円（一一五・四％）別府市内―風連鍾乳洞＝二万五千四百円（四四・三％）別府―耶馬渓＝二万五千円（二三・八％）

【宮崎地区】

駅―子供の国・青島・サボテン公園―鵜戸神宮―駅＝一万七千五百円（三三％）駅―子供の国・青島・堀切峠―サボテン公園―駅＝一万四千円（三七％）駅―市内旅館送迎のみ＝四千円（二五〇％）

【鹿児島地区】

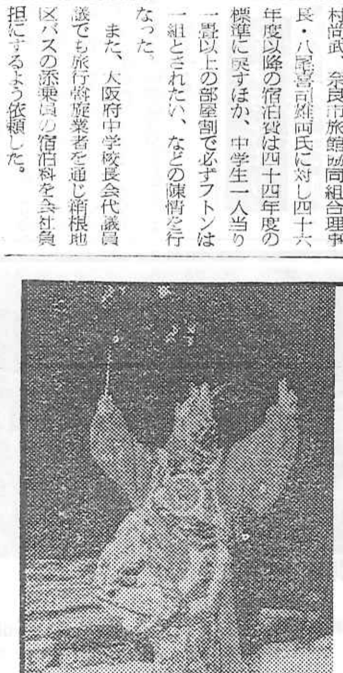
鹿児島市内（二時間コース）九千円（一二五％）鹿児島―池田湖―長崎鼻―指宿―鹿児島＝二万三千五百円（三九％）鹿児島―桜島―霧島―宮崎＝四万一千五百円（五〇％）

## 値下げを要望

### 関修委と大阪府中学校長会

関修委（徳橋善四郎会長）では京都市団体旅館協議会委員長・野村尚武、奈良市旅館協同組合理事長・八尾喜司雄両氏に対し四十六年度以降の宿泊費は四十四年度の標準に戻すほか、中学生一人当り一畳以上の部屋割で必ずフトンは一組とされたい、などの陳情を行なった。

また、大阪府中学校長会代議員議でも旅行斡旋業者を通じ新規地区バスの添乗員の宿泊料を会社負担にするよう依頼した。



修学旅行は
日本の歴史を眼で見る
奈良
奈良にお越しの節は是非下記の各店にお気軽にお立寄り下さいませ。
近畿日本ツーリスト指定店
奈良春日若草山地区休憩店
丸十物産／山都屋／三条小鍛治／
菊一文字／杉本物産／三笠物産／
大和物産／神仙境／日日軒

修学旅行は
緑の吉野山へ
歴史の吉野山へ
お泊りは近畿日本ツーリスト協定旅館で
吉野ホテル芳雲館（電話吉野三〇〇一）
八木屋（電話吉野三一六一）
吉野館（電話吉野三〇三九）
湯川屋（電話吉野三〇〇四）
新吉野温泉辰己屋（電話吉野三〇二三）
旅館宝の家（電話吉野三〇一七）
竹林院群芳園（電話吉野三一二七）
桜花壇（電話吉野三〇一三）
さこや（電話吉野三〇〇二）
＝順不同

# 万国博と修学旅行

## 会場地図の学習を

## グループは五名まで

高橋儀六氏の話

関修委事務局長・高橋儀六氏は埼玉県内中学校の万国博修学旅行を円滑に行なうため三月二十日から四日間にわたって現地におもむき、十校約一万名の修旅生の指導にあたったが、その体験を次のようにまとめている。

万国博協会の最初の計画によると修学旅行団体に限り開場一時間前入場が出来ることであたっが、これは一般と同様の扱いに変更されたので注意してほしい。

高橋　儀六氏

事前の指導としては会場地図の学習がきわめて必要であること、これはとくに要望しておきたい。会場内の混雑はある程度予期しているものの、実際ではさらにいろいろな困難を伴なうようである。先ずグループの編成だが、いちばんよいのは〃個人〃の姿だが、これは①連絡の方法がない②相談する者がいない、などで修学旅行には不向きである。最大限度五名までとするのがよい。

会場が広く、他校の生徒はもちろん自校の生徒にさえ出会うことは先ずあり得ず、連絡の方法がない。そのため集合場所、バスの位置（色彩別）は事前に指導し、ワッペンなど、はっきりした標識を各自につけさせておくべきである。会場内ではどんな派手なものでもいっこうにおかしくない。とくに精薄、身障などの特殊な生徒にはこの標識は絶対に必要である。

持参の弁当はどこでも食べられるが、なかでも日本庭園、人工池の周囲など、雨天のときはお祭り広場がよいだろう。後始末には十分注意すること。

便所を探がすのは一と苦労だがだいたい各展示館内やその周囲に設けられているので、便所があったら絶えず使用させることだ。

展示館の混雑度は日時によって違うが、いちばん希望する展示館を先ず最初に見ることが秘訣である。

---

## 場内に本部設ける

鴎友学園　新井福之助氏の話

昭和三十年いらい、わが校では毎春二年生が古文化財と近代産業の進展状態の学習を目的として関西へ修学旅行を実施している。ことしは最終日に万国博一日を加え六泊七日としたが、疲労度も重なったようである。

万国博見学は四月一日で、相当混雑していたが。添乗員と斡旋業者の出張社員の指導がよく、無事に見学できた。もちろん、私としては全修協の下見調査に参加し、集団輸送についても研究を重ねた。京都や奈良が混雑するとか、交通が渋滞するとかいわれていたが、われわれの場合はむしろ逆であった。その日の状態で予測はむずかしい。

当日はゲートから会場まで一時間かかった。各種の団体が目白押しで、これらの人たちはエチケットを知らず、さかんに割込み入場をしていた。われわれの団体をみてゲートの係員は〃さすがは修学旅行だ〃と規律の正しさを賞めていた。

生徒を先ず北口の土曜広場へ誘導した。ベルギー館わきに本部を設け、教員と添乗員が二時間交替で任務に当ることになっていたが、それを利用する生徒もあり、この方式は成功したといえる。とくにグループは作らず、自由見学を建前としたが、人数は少ないほうがよい。見学指導としてはアメリカ館やソ連館よりも近隣国や低開発の国々に重点を置いた。

宿泊については京都の旅館の接遇が悪く、部屋は一人につき一畳にも満たず、従業員の態度も不愉快だった。また食事も想像以上に悪く、野菜不足が目立った。ことしは特別としても、来年からはこのようなことのないよう旅館に対して申し入れたいと思う。

---

## 夜間の見学も一方法

女子聖学院　大久保教道氏談

わが校では万国博のお祭りムードに酔わせぬように批判の眼をもって、とくに理科的見地から修学旅行を実施した。万国博見学が理科の教科会で論議されたのは四十三年の夏休み前だったが、昨年六月に職員会の承認を得て具体化がきまった。

中学二年から高校三年までのうちから五十名の希望者をつのったが、結局五十一名で、そのうちわけは、中二、三年各十名、高一年十八名、同二年十名、同三年三名で事前指導として毎土曜日の午後一時間ずつ勉強会をおこなった。実施は三月二十六日から三日間、二日目に夜景をみたのはよかったと思う。

参加生徒のアンケートによると①「出発前の勉強会について」は「一応きいておいてよかった」二三、「役に立った」七で、「役に立たなかった」はゼロ。②「日数について」は「ちょうどよい」一五、「少なすぎる」一三、「多すぎる」三〇。③「保健関係」では「疲れた」一九、「疲れすぎた」六、「ふつう」五。④「最も心に残ったパビリオンを三つあげよ」では「三菱未来館」一五、「ソビエト館」一二、「富士グループ館」七だった。⑤「予定と実際ではどう違ったか」は「全然狂った」一六、「半分くらい」一〇、「予定通り」三で、一、二位の原因としては「混雑」「待ち時間」「会場が広すぎる」などがあげられた。

反省としては①混雑のため予定の必修パビリオンは多すぎた。比較的すいている夜を考えるべきだ。②この場合、引率の教師が目立つよう、また、必ず生徒と行動をともにせよ。③トイレはパビリオンのなかのものを使うほうがよい。④引率教師の数は高校生でも生徒十名につき一人は必要である。⑤昼は六名以上のグループは無理。⑥会場内のレストランやみやげ品は値段が高すぎる。食堂ではサービス料や税金がかかることを注意すべきだ。

---

## 全修協だより

▼岡本仁氏（全修協常務理事・尼崎産業高校長）病気全快、新学年から校務に専念している。

---

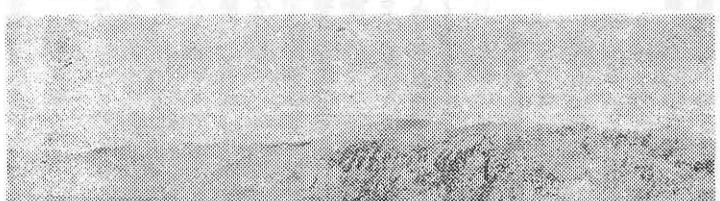
新映画

## 美しい風土と文化遺産再現「みちのく」

▼…東北地方、とくに奥東北の四季それぞれの美しい自然を追いながら、多くの文化遺産や素ぼくな生活振りをとりあげているほか北上川流域の総合開発、八郎潟干拓ではじめられた大農経営にも触れ、その後進性を落して変貌する姿を盛り込んでいる。

▼…北上川の洪水で悩まされていた北上平野は総合開発によってしだいに利用価値が高まり、岩手山麓の火山灰地帯にも春が訪れようとしている。八百五十年前、奥州の藤原氏は草深いみちのくの平泉に目をみはらせる文化の花を咲かせた。初代清衡の建てた中尊寺と、豪華けんらんたる金色堂、また、二代基衡の建てた大泉ヶ池で有名な毛越寺など、美しい画面を展開する。今も残るこの地方独自の南部曲がり屋など興味はつきない。

▼…岩山の白と海の青とが調和する陸中海岸、多くの奇岩に思わず心を奪われる。ネブタ祭りで有名な青森市、リンゴの町弘前市。さらに男鹿半島へとカメラは移動する。爆裂火口に水をたたえた二の目潟二の目潟、全山が草で覆われた寒風山は静かな憩いの山としてわれわれを迎える。眼下の八郎潟の干拓では新しい米どころを知る。また、十和田の秋をたずねる。もみじで色どられた湖には、はや冬が訪れようとしている。きびしい寒さのなかから生まれる数々の民芸品。郷土芸能の一つ〃黒森歌舞伎〃は春を待つ楽しい夢の一コマであろうか。「大和の道」につづく修学旅行映画シリーズの第十一作。十六ミリカラー、二十九分。近畿日本ツーリスト企画、英映画社製作。文部省選定。



（写真は「十和田湖の秋」同映画から）

---

## 万葉史蹟めぐり ㉛

## にじむ仮泊の哀感も

堀田　勇

### 室津港

瀬戸内海を西に航した遣新羅使の一行は、周防灘にはいる前熊毛浦（山口県室津港）に仮泊した。難波の港を出発してからもうかなり日数もたっているというのに、まだ瀬戸内海を航行中という一行にとって、前途はまさにはるかな長途であった。

それだけに家恋いの情も切ないものであったというべく、室津港では四首の望郷歌が詠われた。

都べに行かむ船もが刈こもの乱れて思ふ言告げやらむ

あかときの家恋しきに浦廻より梶の音するは海人娘子（あまをとめ）かも

沖べより潮満ち来らし可良の浦に求食（あさり）する鶴鳴きて騒きぬ

沖べより船人のぼる呼び寄せていざ告げやらむ旅の宿を

○…

「都の方に行く船はないものだろうか。家恋いに乱れている心中を伝言したいのに」は、港に動き回っている船を介した都への慕情であるが、枕詞の刈こもと海上の船の往来の実景とが「乱れる」の中に巧みに浴け合い、それがそのまま心の乱れの譬喩・背景になっているのは、港の仮泊の情趣を詠いつくしているといえよう。

それはまたそのまま「あ、沖の方から船が近づいて来る。きっと都へ行くのだろう。呼び止めて熊毛の浦に宿っていると知らせてやろう」の都恋いの情にも連らなる。「呼び寄せていざ告げやらむ」など、ほとんど慟哭せんばかりの激しい慕情である。

仮寝の一夜が明けたとき、夢に見た恋妻のことを改めてしのばせるもののように「漁夫の娘が梶の音を立てて港の外から漕いできた」というのも、景も情も描き得て妙で、読むものの、胸にしみ入る旅愁がうかがえる。言葉通り、まさに見るもの聞くものすべてが家を恋い、都をしのぶよすがだったのである。

そうした折には、「満ちて来た潮に追われて食も得られず、騒ぎ立てているツル」の声も、ひとしお強く耳についたわけで、一見、淡々と詠っている写生歌ながら、仮泊の哀感をしみじみとかみしめているような情緒を漂わせている。鳴いて騒ぐツルに連れて、作者の心もまた家郷を恋うて騒ぎたったことであろう。

○……

熊毛の浦は、今日の室津から室積のあたりにかけた港湾を称したのであろう。

前面に長島が横たわり、海岸添いに小島が点在して周防灘の風浪を防いでいる室津港は、古来からの瀬戸内海西辺の要港として栄えたところであるが、遣新羅使の一行もここで日和待ちして、一気に周防灘を乗り切ろうとしたのではなかろうか。

私が室津港背後の丘にのぼって、眼下の港湾とその沖に茫洋とひろがる周防灘を望見したのは晩春のころだった。私はそのとき、その好風大景にただ魅了されるだけだった。

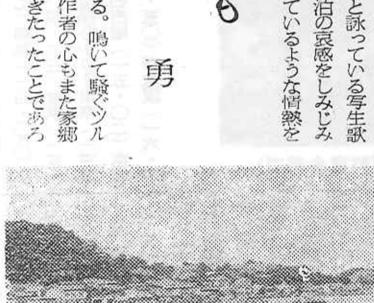
○…

室津港からの帰途、かつての熊毛の浦に添う海岸の通りで、遣新羅使一行がうたった

家人は帰り早来と祝島斉（いわ）ひ待つらむ旅行く吾を

の祝島も望見した。そして、祝の地名に寄せて神祇との交感を信じてうたがわなかった古代人の至純さに感動しないではおられなかった…

（随筆家・写真も　写真は室津港）



×　×　×

×　×　×

修学旅行のご宿泊に……

■東京随一の環境・素晴しい展望
■交通至便・羽田から25分
■玄関前にバス15台の駐車場
■安全第一の諸設備完備
■清潔な調理場と快適な大食堂
■浄化装置の大小浴場

財団法人　修養団経営
東京青年文化会館
東京都渋谷区千駄谷4—25
電話（403）5111（代表）

九州・別府への
修学旅行に……

客室77／収容人員1200／学習用資料展示の学術館／バス80台・乗用車 200台駐車可能／遊戯施設など完備
＜鶴見園レジャー・センター併設＞

別府市南立石2152—1
電話 0977（3）3221
鶴見園
観光ホテル
大阪案内所　大阪市旭区赤川町1—69
電話 06（922）2002
東京案内所　東京都千代田区神田鍛治町3—6
電話 03（256）4606